

船舶インシデント調査報告書

令和8年2月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	座洲
発生日時	令和7年2月7日 14時40分頃
発生場所	広島県尾道市因島東方沖 大浜埼灯台から真方位154°900m付近 (概位 北緯34°21.0′ 東経133°10.7′)
インシデントの概要	貨物船松栄丸は、北西進中、浅所に座洲した。
インシデント調査の経過	令和7年3月28日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 松栄丸、497トン
船舶番号、船舶所有者等	135031、松栄株式会社（A社）
乗組員等に関する情報	船長、五級（航海） 航海士、四級（航海）
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 雨、風向 西南西、風速 約6～7m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の初期、潮高 約267cm（竹原）
インシデントの経過	<p>本船は、船長及び航海士ほか3人が乗り組み、船橋航海当直警報装置（以下「本件警報装置」という。）を作動させ、福山港を出港し、大分県津久見市津久見港に向かった。</p> <p>本件警報装置は、船橋前部の天井部分に設置されていたモーションセンサー（赤外線感知器）を操舵スタンドの中央付近に向け、船橋当直者の動作を12分間感知しない場合、警報を発する設定になっていた。</p> <p>船長は、ふだんから船橋当直者に対して体調に異常を感じた際などには、知らせるように指示していた。</p> <p>船長は、昇橋してきた航海士と船橋当直を交替して降橋した。</p> <p>単独の船橋当直についての航海士は、操舵スタンドの前に置いた椅子に腰を掛け、約10ノットの対地速力とし、自動操舵で操船中、座洲の約25分前に針路を北西方に向けた後に居眠りした。</p> <p>船長は、食堂で休息中、座洲の約20秒前、何気なく窓から外を見たところ、ふだんと景色が違うことに気付き、不審に思って操舵室に向かった。</p> <p>操舵室のドアを開けた船長は、自動操舵で椅子に腰を掛けて居眠りした状態の航海士を認めると同時に因島東方沖の浅所（以下「本件浅所」という。）に座洲したことを確認した。</p> <p>船長は、主機を前進運転から後進運転に切り替えて離礁させた後、</p>

本船を広島県三原市方面の安全な海域に移動させることとした。(図1参照)

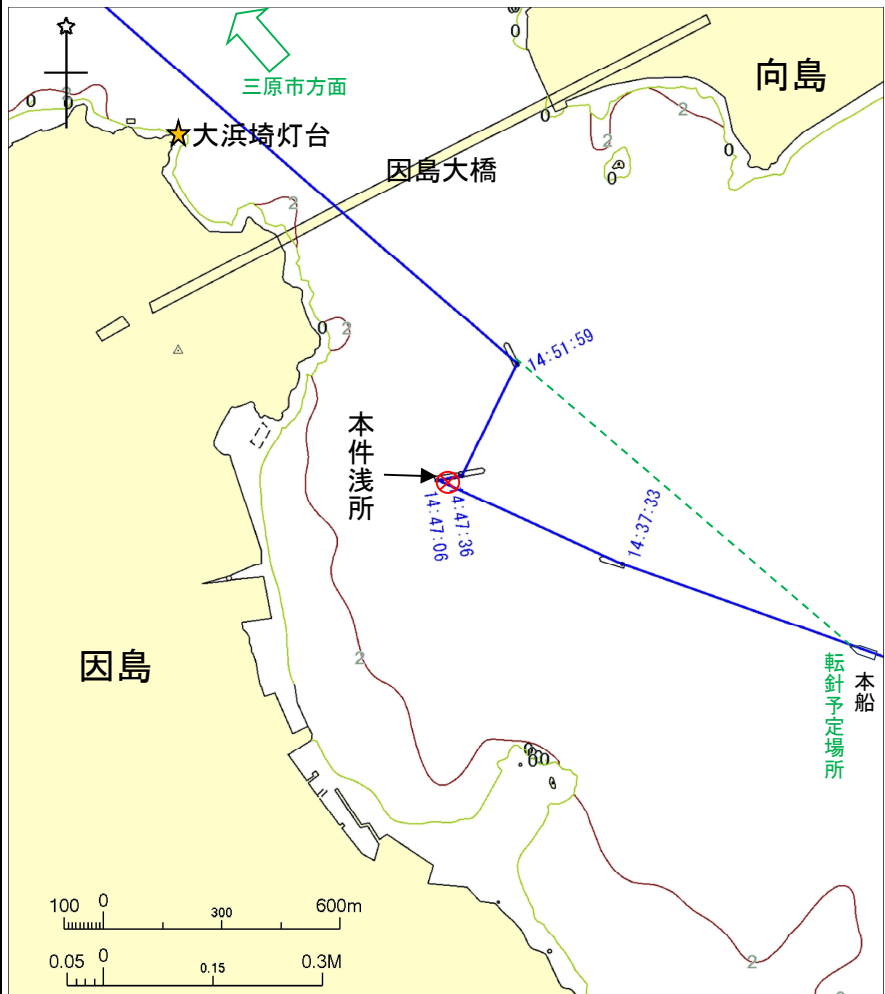


図1 航行経路図

本インシデントを目撃した者は、海上保安庁に本インシデント発生
の通報を行った。

本船は、三原市方面に移動中、海上保安庁からの連絡で広島県尾道
糸崎港南方沖に錨泊するように指示を受け、指示された場所に錨泊し
た。

船長は、A社担当者に本インシデント発生
の連絡を行った。

本船は、船底の潜水調査を行った後、損傷がなかった
ので、目的地に向かった。

船長は、これまでに約30年の乗船経験があり、航海士とは本イン
シデントの約1年前から一緒に乗船していた。

航海士は、荷役中、クレーンの操作を担当しており、船長は、航海
士の疲労具合を確認して当直体制を決めていた。

本件警報装置は、故障及び不具合はなかったが、本インシデント当
時、警報は鳴らなかった。

分析

本船は、自動操舵で北西進中、単独で船橋当直中の航海士が居眠り

	<p>したことから、転針予定場所を通過し、本件浅所に座洲したものと考えられる。</p> <p>航海士は、椅子に腰を掛けた状態で操船中、居眠りしたものと考えられるが、航海士から必要な情報が得られなかったことから、居眠りした状況については明らかにすることができなかった。</p> <p>本件警報装置は、故障及び不具合はなく、船橋当直者の動作を12分間感知しない場合に警報を発する設定になっていたものの、本インシデント当時、警報は鳴らなかったものと考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、本船が、自動操舵で北西進中、単独で船橋当直中の航海士が椅子に腰を掛けた状態で居眠りしたため、転針予定場所を通過し、本件浅所に座洲したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船橋当直者は、できるだけ椅子に腰を掛けず、体を動かしたり、外気に当たったり、手動操舵に切り替えたりするなど、常に眠気を払う動作をとること。 ・ 船橋航海当直警報装置を備える船舶においては、同装置を過信せず、航行中における常時作動及び休止時間を可能な限り短く（3分に）設定するなどの措置を採ること。 ・ 船長は、速やかに事故等の発生を海上保安庁に通報した上で、適切な指示を仰ぐこと。